

フライト情報表示システム (FIDS)

スマートなディスプレイとリアルタイムデータで、スムーズな旅を実現



スマートな情報で空港オペレーションを変革

空港運営には、正確でタイムリーな情報伝達が欠かせません。Scala FIDSは、ターミナル全体にリアルタイムのフライト情報と運用状況を配信し、乗客に最新情報を提供しながら、空港スタッフが状況をしつかり把握できるようにします。

エントランスからチェックイン、搭乗口まで、すべてのスクリーンがリアルタイムのデータを表示し、一貫性のあるストレスフリーな旅を実現します。



主なメリット



中央管理

単一のプラットフォームからすべてのディスプレイを管理し、全チャンネルでメッセージとブランド表現を統一できます。



高い拡張性と柔軟性

小規模ターミナルから国際ハブ空港まで対応可能です。



シームレスな連携

AODB、CUTE、BHSなどの空港システムと接続し、リアルタイムかつ同期されたデータを提供します。



高い信頼性と復旧力

フェイルオーバー保護とリアルタイム監視により、システムの継続稼働を保証します。



ネットワーク耐性のあるアーキテクチャ

不安定なネットワーク環境でも動作し続け、サービスの継続性を確保します。



インテリジェント監視

デバイスのヘルスチェックとアラート機能により、トラブルを早期に検知。画面のブランクや古い情報が表示されることを防ぎます。



ダイナミックコンテンツ対応

フライト情報だけでなく、アラート、セーフティメッセージ、デジタル広告など多様なコンテンツに対応し、新たな収益源を創出します。



乗客体験の向上

リアルタイムの旅行情報、アラート、プロモーションを表示し、乗客の利便性と満足度を向上させます。



空港運営をスマートにするFIDSモジュール

Scala FIDSは、強力なデータ統合と直感的な管理機能を組み合わせ、すべてのディスプレイが正確かつ同期された状態を維持できるよう設計されています。チェックインから到着まで、乗客体験と空港オペレーションをシームレスに支援します。

■ 基本機能モジュール



FIDS ポータル（強化版）

- リアルタイムのフライトデータを管理する中央ハブ。
- 例外処理、ルート、コードシェアに対応。
- 精度チェックを伴うフライトテーブルの自動更新。
- 監査や分析のためのレポート作成機能。



到着・出発サマリー

- 航空会社、便名、ルート情報を表示。
- 予定時刻と推定時刻を表示。
- フライトおよびゲートの最新状況を反映。
- 定刻・遅延・欠航などのステータスを表示。



ゲート情報ディスプレイ

- 航空会社、便名、目的地を表示。
- 出発状況をリアルタイム更新。
- 次の出発便の情報を表示。
- ゲート変更を乗客・スタッフへ通知。



手荷物受取所ディスプレイ

- 航空機の着陸とベルト割り当てに連動して自動表示。
- ベルト番号、航空会社、手荷物の状況（「ファーストバッグ／ラストバッグ」）を表示。



■ 追加モジュール&高度ツール



チェックインカウンターディスプレイシステム

カウンター業務を最適化し、専用カウンター・共有カウンターの両方にリアルタイムで正確なフライト情報を提供。



ゲートメッセージマネージャー

直感的な操作でゲート業務を効率化し、迅速な調整と分かりやすい乗客向け案内を実現。



手荷物ステータスマネージャー

フライト情報とベルト割り当てをリアルタイムで同期し、手荷物処理の効率と正確性を向上。空港全体の運用最適化を支援。



館内アナウンス連携

視覚・音声アナウンスを自動化し、ターミナル全体で統一されたフライト情報を提供。